



2019年7月31日

各 位

会 社 名 東京応化工業株式会社
 代 表 者 名 取締役社長 種市 順昭
 コード番号 4186 (東証第一部)
 問 合 せ 先 広報部長 大橋 秀夫
 TEL. 044-435-3000

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2019年2月14日の決算発表時に公表いたしました2019年12月期の第2四半期(累計)連結ならびに2019年12月期通期連結の業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2019年12月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正

(1) 第2四半期累計期間 (2019年1月1日～2019年6月30日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A) (2019年2月14日発表)	54,000	4,500	4,600	3,000	72円00銭
今回修正予想(B)	49,000	4,400	4,400	2,900	70円16銭
増減額(B-A)	△5,000	△100	△200	△100	—
増減率(%)	△9.3	△2.2	△4.3	△3.3	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2018年12月期第2四半期)	50,748	4,674	4,675	3,210	76円93銭

2. 2019年12月期通期連結業績予想数値の修正

(1) 通期期間 (2019年1月1日～2019年12月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (2019年2月14日発表)	111,600	10,500	10,800	7,200	172円81銭
今回修正予想(B)	100,500	8,300	8,500	4,900	117円52銭
増減額(B-A)	△11,100	△2,200	△2,300	△2,300	—
増減率(%)	△9.9	△21.0	△21.3	△31.9	—
(ご参考) 前期実績 (2018年12月期)	105,277	10,505	10,734	6,875	164円92銭

3. 修正の理由

第2四半期累計期間の売上高は、米中通商摩擦の影響が一部で顕在化したことや、スマートフォン需要の落ち込み、サーバー市場の成長の鈍化によって、主に国内・アジア地域を中心としたエレクトロニクス機能材料、高純度化学薬品が低調に推移しました。また、装置事業においては一部の製品で検収の遅れが生じたことにより前回発表予想を下回る見込みです。

また、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましても、前回発表予想を下回る見込みです。

通期の連結業績に関して、売上高は第2四半期累計の業績、および今後の市場状況の見通しからエレクトロニクス機能材料、高純度化学薬品ともに下期見通しを引き下げ、前回発表予想を下回る見込みです。

また、利益面におきましても高純度化学薬品の原材料価格が有利に推移した効果はあったものの売上高の減少の影響により、前回発表予想を大幅に下回る見込みです。

今後修正が必要となった場合は、速やかに開示いたします。

(ご注意)

上記の業績予想は、現時点において見積もられた見通しであり、これまでに入手可能な情報から得られた判断に基づいております。従いまして、実際の業績は、様々な要因やリスクによりこの業績予想とは異なる結果となる可能性があります。

以 上